



県内60歳以上のアクティブシニア1,000人を対象に 日常生活・社会参加活動について意識調査を実施しました!!

■調査の目的

高齢者が心身共に健康で、生きがいを持ち地域の担い手として活躍していただくための諸方策を検討するため、当財団の事業参加者から、今後地域の担い手として活躍が期待される60歳以上の人を対象に、「健康、生活、生きがい活動等」に関するアンケート調査を実施しました。

■主な調査結果（要旨）

- ① あなたは新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛中、新たに興味や関心が高まった、又は新しく始めたことは何ですか。

「家の掃除や部屋の片付け」54.0%

「家庭菜園や庭いじり」50.6%

「健康への意識」48.7%

- ② あなたは新型コロナウイルスの感染拡大が収束後に、考えている計画や関心事はありますか。

「ある」73.6%

「ない」15.7%

性別及び年齢別に関わらず、約6割以上の方が新型コロナウイルス収束後に考えている計画や関心事があり、とても高い期待を持っていることが伺えました。

- ③ 上記②について、あなたが考えている具体的な計画や興味・関心事は何ですか。

「国内旅行に行く（日帰り・宿泊も含む）」78.2%

「友人・知人に会う」60.0%

「外食に行く」47.1%

性別や年齢別に関わらず、7割以上の方が「国内旅行」に高い期待を持っており、外出自粛により移動が抑制された反動で強く望む人が多い現状が伺えました。

- ④ あなたはオンラインイベントに参加したことはありますか。

「ない」90.1%

「ある」5.2%

約9割以上のシニア世代はオンラインイベントに対して参加したことがなく、シニア世代にはまだオンラインイベントへの馴染みが薄く、普及が進んでいない現状が伺えました。

■調査地域 群馬県全域

■調査対象 1,000人

当財団の事業参加者から60歳以上の人を無作為に1,000人抽出し、「60歳～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳、80歳以上」の5段階の年代に区分。

■調査内容

ア 基本属性に関する事項

（健康・幸福感等）

イ 日常生活に関する事項

（新型コロナウイルスに関する意識調査、オンラインイベントに関する意識調査等）

ウ 社会参加活動の実態に関する事項

■調査方法 郵送調査

■有効回答数 554人（回収55.4%）